

人と人がつながり合う大切さ

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行してから、子どもたちを巡る環境は以前の状況に戻りつつあります。

先日、保育者の研修会が3年ぶりに対面で行われました。研修内容が良かったのはもちろんのことですが、何より参加

者みんなが喜んだのは、久しぶりに顔を合わせて研修を行えたことでした。そこで感じたのは、やはり人と人がつながり合うことの大切さでした。

コロナ禍では園での行事などが縮小されましたが、子どもたちの笑顔は変わらずそこにありました。

園で過ごす子どもたちは、友達や保育者と触れ合う中で、さまざまな経験を積んでいきます。一緒に遊んだり、その遊びが盛り上がったたり、時にはけんかをしたり、また仲直りをしたり…。その経験こそが、子どもを一回りも二回りも成長させてくれます。

大きくなってからネット社会で生きる子どもたちだからこそ、幼いうちにたくさんの人とつながり合い、その中でいるような感情をお互いに抱き、思いを伝え合い、絆を深めていく…。そんな経験を重ねてほしいと願っています。



イラスト/さかたともみ

先生からの 手紙

幼稚園の先生たちが
今、伝えたい
子どものこと、園のこと。



井上容子先生

大阪府高槻市
平安女学院大学附属こども園
園長

豊かな心を育てるポイント

友達と遊び、けんかし、
仲直りする経験が
成長につながる